

事務局から

▼1月18日(金)に、「教育カフェ 三 新発田」を開催した。参加者8名と少人数でしたが、内容のある会でした。今後も、各地で会員の交流を兼ねながら、地域の教育課題を探っていきたい。

▼度々紹介してきた「新たな研究所の活動」の骨子について、研究所通信に載せました。今後、理事会に諮り、さらに内容を検討し、総会に提案します。会員の皆さんからも、ご意見をお寄せいただく幸いです。

▼4月から小学校では全学年で「プログラミング教育」が始まります。文科省は「教師がプログラミング教育に対して抱いている不安を解消し、安心して取り組めるようにすること」をねらいとして、教師用の手引きを作成しました。また、高学年では「英語教育」も

始まります。定数増を伴わない文科省の新たな押しつけで、教員の負担は増すばかりです。

▼新たな元号の発表日の4月1日、NHK、民放問わず、朝から新たな「元号」歓迎一色の番組ばかりでした。異常と感じてしまいました。

(和澄利男)

編集後記

▼「春宵の 此一刻を 惜むべし」

(高橋 虚子)

例年ほど雪の降らなかつた冬がおわり、レンギョウやユキヤナギの花が町を彩る季節がやってきた。

▼心が浮き立つはずの春なのに、教育現場は閉塞感におおわれている。「ドリル漬け」・「超過勤務」で、子どもたちも大変、教師もまた、大変である。そこで、今号は「子どもの教育と教員の働き方」を

テーマにして特集を組んだ。学校を居心地のいい場所にするためのヒントを与えてくれたのではないだろうか。

▼今号は、初めてLGBTをとりあげた。性的少数者に対する理解が深まり、人権が侵害されることのないよう願うばかりである。

(小野塚)

にいがたの教育情報 No. 129

2019年4月20日発行

編集・発行 にいがた県民教育研究所

発行人 小林 昭三

〒951-8116

新潟市中央区東中通1-86 山崎ビル

電話・FAX (025)228-2924

振替口座 00640-0-12332

Eメール kyoiku@triton.ocn.ne.jp

印刷所・神林印刷

TEL 0254-66-7959